

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19330062

研究課題名（和文） 家族構造の変化と社会保障と労働市場のありかた

研究課題名（英文） Changes in Family Structure and How Social Security and the Labour Market Should be Undertaken

研究代表者

若林 緑 (WAKABAYASHI MIDORI)

大阪府立大学・経済学部・准教授

研究者番号：60364022

研究代表者の専門分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・経済政策

キーワード：経済政策

1. 研究計画の概要

本研究の目的は、これまで「家計」としてひとまとまりにされてきた家族を、本人、配偶者、親、義理の親、きょうだい、子供、などからなる集合体として明示的に捉え、経済学的な観点から理論的および実証的に分析することである。日本の家族はどういった社会・経済的要因（社会的規範・慣習、労働市場）、制度的要因（家族法制、社会保障制度）から影響を受けてきたのか、また、逆に家族関係の変化がこれらの要因にどのような影響を与えるのだろうかといったことを明らかにする。

2. 研究の進捗状況

本研究では、親子間の同居について単なる「子供」と「親」だけではなく「それぞれの子＝きょうだい」や「夫の親」「妻の親」といった具体的な家族構成員それぞれを単体として捉え、遺産やその他世代間移転が夫の親と妻の親ではどのくらい異なるのか、子供がどの程度高齢の親と同居し、どの程度高齢の親の世話、介護、経済的援助をするかをそれぞれの家族の構成員を明らかにした上で、これらの行動の決定要因について検証した。また同時に親の遺産やそれ以外の世代間移転（または親の資産）と子供が高齢の親と同居し、高齢の親の世話、介護、経済的援助などを行う度合いの間にどの程度の相関があるかについて吟味した。さらに、新たな家計の形成、存続、解消を見るために結婚、出産、離婚について家族構成員を元に議論している。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

(理由)

2011年3月末がこの研究の最終年度であるが、当初の計画以上に進展した。というのも、当初予定していた多くの研究が査読付き英文雑誌に掲載されたり、海外査読付き論文発表会にて発表されているからである。また、毎年開催している研究会では海外の研究者からコメントをもらうなど非常に意義深いものとなっている。

4. 今後の研究の推進方策

本研究は、当初の計画ををすべて完了したが、今後は本研究をいくつかの方向に発展させることが考えられる。ひとつは、今までの研究では、分析対象を主に日本に限ったが、これからは、メンバーの在外研究の研究成果を生かし、国際比較分析を行い、国によってどの程度の違いがあるかを明らかにするという研究である。次に、これまでは、同居や介護を中心に研究を行ってきたが、社会保障制度や法制度との関連をより吟味する事も考えられる。最後に、家族の金銭的な効用水準だけではなく、健康や満足度など行動経済学的な観点から研究を行うことも必要と思われる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

① Charles Yuji Horioka & Midori Wakabayashi, “Is the Eldest Son Different? The Residential Choice of Siblings in Japan”, *Japan and the World Economy*, 査読有, 21(4), 2009, 337-348

② Midori Wakabayashi, “The Retirement Consumption Puzzle in Japan”, *Journal of Population Economics*, 査読有, 21, 2009, 983-1005

③ Wataru Kureishi & Midori Wakabayashi, “Taxing the Stork”, *National Tax Journal*, 査読有, 61, 2008, 167-187

[学会発表] (計3件)

① 若林緑, “Taxing the Stork”, 職場・家庭・地域環境と少子化との関連性に関する理論的・実証的研究プロジェクト, 2008.8.8, 国立社会保障・人口問題研究所

② Wataru Kureishi & Midori Wakabayashi, “Why do First-Born Children Live with Parents?: Geography of the Family in Japan”, Western Economic Association 83rd Annual Conferens, 2008.7.1, Sheraton Waikiki

③ 暮石渡, 若林緑, “When Does the Stork Bring the Baby? Shotgun Babies vs Non Shotgun Babies”, 日本家族社会学会, 2007.9.8, 札幌学院大学

[図書] (計1件)

① 暮石渡, 若林緑, 筑摩書房, 『こんなに使える経済学—肥満から出世まで』, 2008, 97-102

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

○取得状況 (計0件)

[その他]